
宇宙利用ユーザープラットフォーム の概要

2023年9月1日

宇宙利用ユーザープラットフォーム 暫定幹事会

宇宙利用ユーザープラットフォームの目的

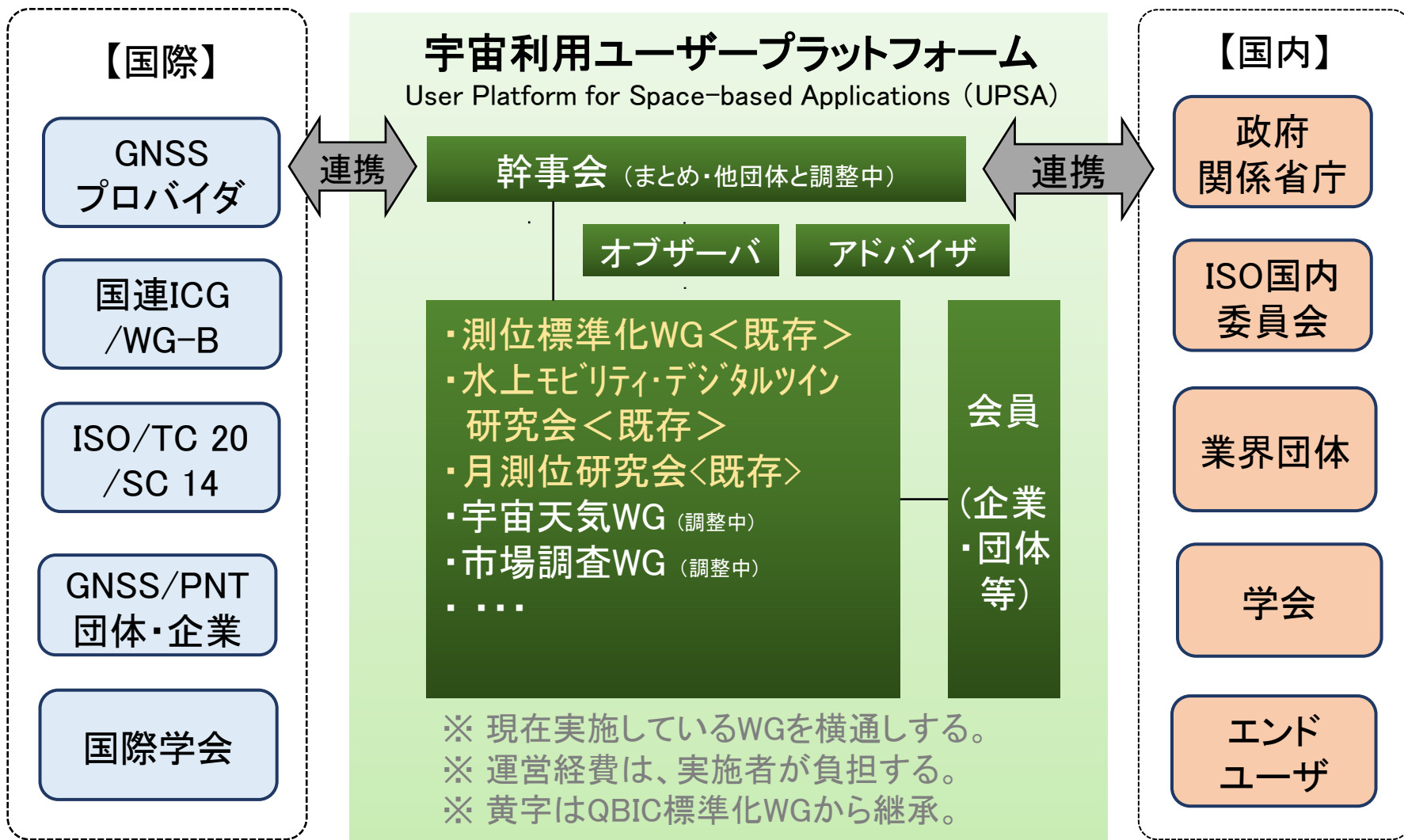
宇宙利用ユーザープラットフォーム(以下、「プラットフォーム」という)は、宇宙分野のダウンストリームと呼ばれる「宇宙利用サービス*」、すなわち、準天頂衛星システムを利活用する衛星測位、宇宙システムを利活用するリモート観測、通信・エネルギー、宇宙天気等を主たる分野とし、これらの分野の有識者や関心をもつ企業・団体が協議・推進する場を提供するものです。

このプラットフォームは、国際機関(ISO/IEC、国連、他)の事業に対応する国内委員会と連携します。

このプラットフォームの英語名称は、User Platform for Space-based Applications (UPSA) とする。

注* ISO では Downstream space services and space-based applications という。
WG8 : <https://www.iso.org/committee/46614.html>

プラットフォームの役割

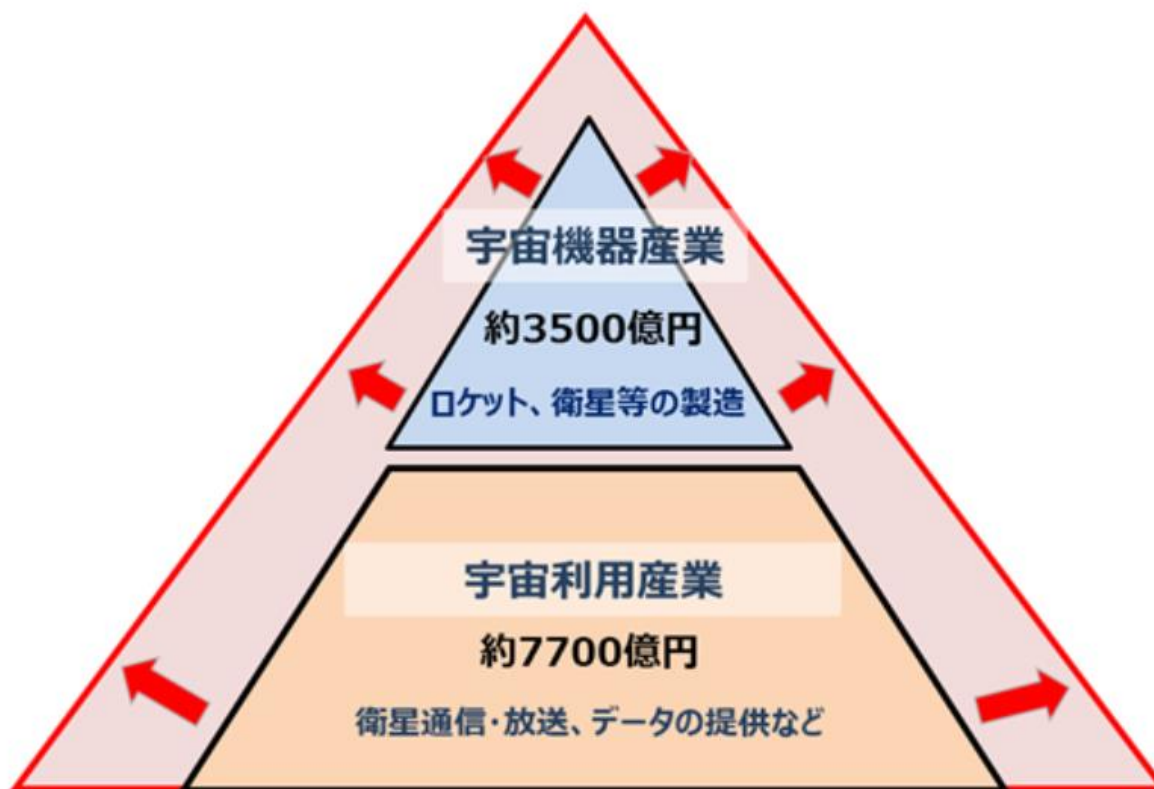


宇宙産業との関係

当プラットフォームは宇宙利用産業の振興に貢献します。

政府目標（R2宇宙基本計画）

「宇宙産業の規模を2030年代早期に倍増（約1.2⇒2.4兆円）」

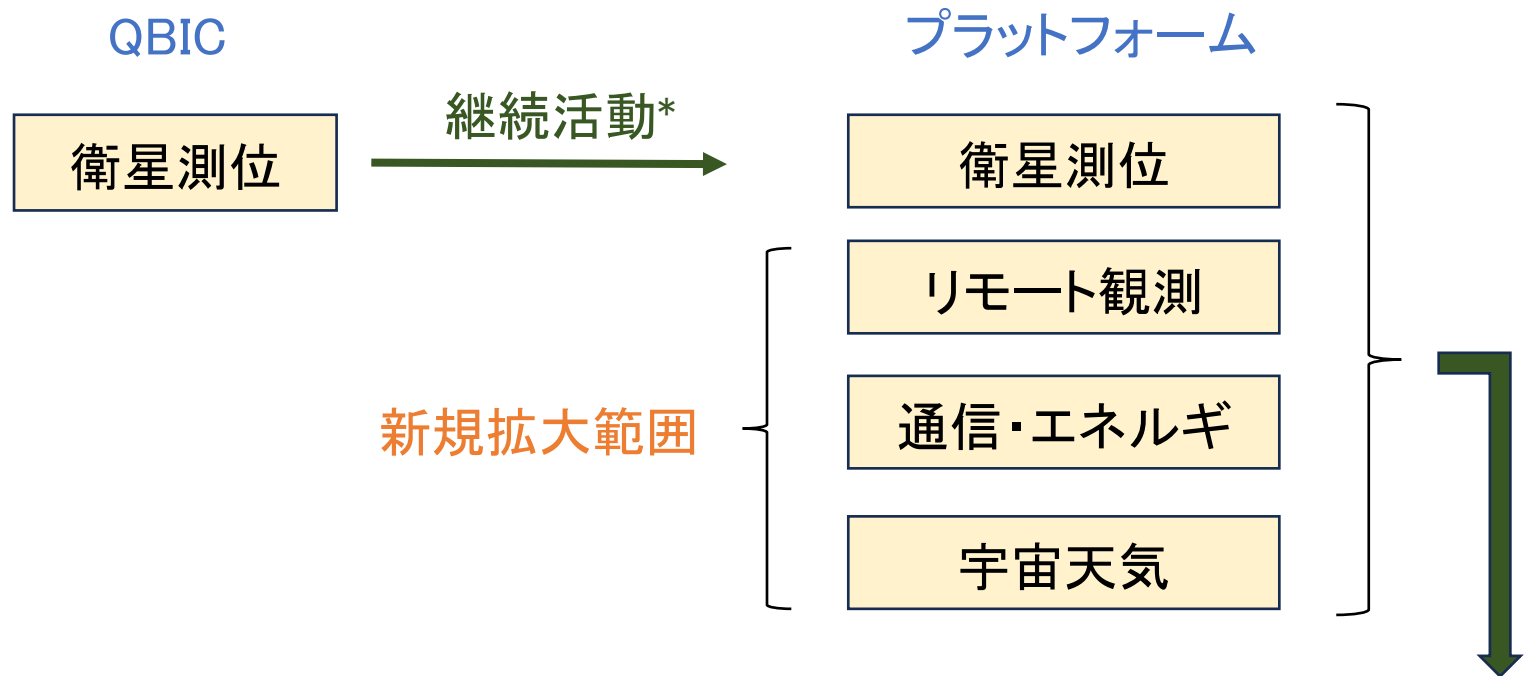


（出典）一般社団法人日本航空宇宙工業会 令和元年度宇宙産業データブック（平成30年（2018）年度の宇宙関連産業規模）

QBICとの関係

2023年9月30日で修了したQBIC活動のうち継続活動*を引き継ぐと共に、ISO委員会が掲げる4つの分野を柱として活動を行います。

注*：標準化等のWG及び研究会活動等



ISO/TC 20/SC 14 委員会の規定範囲
Downstream Space Services and Space-based Applications

規約:その他の要点

● 会員

会員は、このプラットフォームの目的に賛同した企業、関係団体、学識経験者、個人等とする。

● 年会費

プラットフォームの会費は無料とする。但し、費用が発生する場合には受益者又は受益者となる可能性のある者の負担を原則とする。

● ワーキンググループ

プラットフォームにはワーキンググループを設置する。
主に研究活動を行う場合は、研究会と呼称することができる。

● 事務局

プラットフォームの運営における会議費等一般的事務費は、原則、実施者が負担する。それ以外の経費は、必要になった場合は、幹事会で調整する。

スケジュール

No	項目	2023年度						2024年度		
		10	11	12	1	2	3	4	5	6
1	暫定幹事会	継続事業の遂行及び幹事会準備								
								発足		
2	幹事会の発足									
3	測位標準化WG		▽第4回		▽第5回		▽第6回		▽第1回	
4	宇宙天気WG		▽国際会議@パリ			▽国内会議?			国際会議▽	
5	月測位研究会		▽第5回			▽第6回			▽第7回	
	その他調整中									

国際委員会・国内委員会・協議会の関係

国際機関が推進する「宇宙利用サービス」分野の国内委員会と連携・支援する。

